令和７年度
教育に関する事務の点検・評価報告書

令和８年10月

設楽町教育委員会

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）に基づき、令和７年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

学識経験者の選定に当たっては、本町にゆかりのある方を前提としつつ、広い視点からの知見を期して、学校教育、社会教育での教育や人材育成に携わっている見識の高い方の知見の活用を考慮しました。

○　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第26条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○　点検及び評価の対象
設楽町教育委員会の令和７年度主要施策及び令和７年度教育方針

○　学識経験者

氏　　名	職　歴　等
夏目　忠士	元公立中学校校長
後藤　義男	元設楽町教育委員会教育長

○　教育委員会名簿（令和７年度在籍者）

役　　職	氏　　名	任　　期
教 育 長	大須賀　宏明	R3.11.1～R9.3.31
教育委員	伊 藤　昭 広	R3.11.10～R11.11.9
教育委員	小野田　治幸	R4.11.10～R8.11.9 （教育長職務代理者 R6.11.10～R7.11.9）
教育委員	伊　藤　　潤	R6.9.3～R9.11.9 （教育長職務代理者 R7.11.10～R8.11.9）
教育委員	丸 山　知 美	R6.11.10～R10.11.9

目　　次

令和７年度 主要施策成果の報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～46

令和７年度 設楽町教育方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47～52

学識経験者の意見 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53～56

令和７年度　主要施策成果の報告

９款　教育費

１項　教育総務費

１目　教育委員会費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P183～	2,340	2,308	0	0	0	2,308

●事業番号1　　教育委員活動費　2,308,405 円（教育課）

［総　括］

学校及び関係機関との連携を図り、児童生徒の健全な育成及び教育環境の充実に努めるとともに、社会教育、文化・スポーツ活動等の振興を図りました。また、教育委員会会議等において教育行政に関する諸課題について協議・検討を行い、適切な教育行政の推進に努めました。

引き続き、教育を取り巻く環境の変化に対応し、学校、家庭、地域との連携を図りながら、教育行政の充実に努めてまいります。

関連計画：設楽町教育振興基本計画（Ｒ４～Ｒ８）総務課・教育課

教育基本法に規定する教育振興基本計画として、「教育は人づくり」を基本理念に、礼節、思いやりの心を持ち、将来自立していくことができる生きる力を兼ね備えた子供の育成を目指します。

また、児童生徒数の減少を踏まえた学校規模適正化の推進として、小中学校の統廃合についての方向性を定めます。

●成果目標

設楽町教育振興基本計画に掲げる諸課題について、保護者、学校との連携し課題解決を図ります。

総合教育会議、教育委員会定例会ともに、公開で開催するともに、町ホームページを活用し、積極的な情報発信に努めます。

●実績結果

教育行政の諸課題を踏まえ、次期町教育振興基本計画策定に向けて検討を深めました。

［実績成果］

(1)　教育委員会の開催

開催日	主な協議事項
５月 12 日	教育施設の維持管理方針など
７月７日	令和７年度使用教科用図書の採択についてなど
９月 25 日	教育委員の辞職につき同意を求めることについてなど
12 月５日	小学校規模適正化委員会についてなど
２月 25 日	町指定文化財の指定解除など
３月 19 日	小学校規模適正化委員会について、人事案件など

(2)　設楽町総合教育会議の開催

日　時	主な協議事項
９月 25 日	町教育振興基本計画の策定に向けて

(3)　学校訪問の実施

日　時	学校名	内容
6 月 16 日	津具小学校	授業参観、校内巡視、帳簿検査、面談等
6 月 19 日	清嶺小学校	
10 月 2 日	田口小学校	
10 月 16 日	名倉小学校	
11 月 6 日	設楽中学校	

(4)　教育委員

氏名	役職	任　期　等
大須賀　宏明	教育長	R3.11.1～R6.3.31、R6.4.1～R9.3.31
伊藤　　昭広	教育委員	H29.11.10～R3.11.9、R3.11.10～R7.11.9、R7.11.10～R11.11.9
小野田　治幸	教育委員	R4.11.10～R8.11.9（教育長職務代理者 R6.11.10～R7.11.9）
伊 藤　　潤	教育委員	R6.9.3～R9.11.9（教育長職務代理者 R7.11.10～R8.11.9）
丸山　　知美	教育委員	R6.11.10～R10.11.9

9款　教育費

1項　教育総務費

２目　事務局費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P185～	206,847	201,336	13,988	11,900	21,917	153,531

●事業番号116　スクールバスの運行　　58,066,127円（教育課）

［総　括］

学校区が広く通学距離の長い各小学校児童及び設楽中学校生徒の保護者の負担軽減や登下校時の安全を確保するため、スクールバス運行を外部委託しています。

安心安全な運行に努めるとともに、その時々の気象状況や道路事情等に応じて運行経路や発着時間を密に調整しています。

●成果目標

事業者との着実な連携のうえ、無事故運行を継続します。

●実績結果

児童・生徒の通学手段として、安心・安全な運行に心掛け、無事故運行が継続できました。

［実績成果］

1　スクールバス等利用者

		R6	R7	比較	備考
田口小学校		10人	11人	1人	
	長江小松線	3人	2人	△1人	
	平山荒尾線	2人	2人	0人	
	裏谷線	1人	2人	1人	
	田峯線	4人	5人	1人	
清嶺小学校		3人	3人	0人	
	三都橋豊邦線	3人	3人	3人	
名倉小学校		0人	1人	1人	
	沖駒線	0人	1人	1人	
設楽中学校		49人	48人	△1人	
	三都橋豊邦線	4人	2人	△2人	
	長江小松線	2人	0人	△2人	
	名倉線	18人	19人	1人	
	小塩線	6人	9人	3人	
	田峯線	5人	6人	1人	
	裏谷線	1人	2人	1人	
	津具線	13人	10人	△3人	
計		62人	63人	1人	

●事業番号117　外国語指導助手費 9,661,080 円（教育課）

［総　括］

町内小中学校における外国語（英語）教育については、小学校でも英語が教科化され、ALT の重要性も一層高まっており、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の向上、よりネイティブな英語を身に付けさせるため、外国語を母国語とする外国語指導助手（ALT）を引き続き２名配置し、授業の補助を行っています。

●成果目標

児童生徒が、広い視野と知識、経験を知り、学ぼうとする力を養い、将来「地域を支える」人材を育成します。

●実績結果

ネイティブな英語に触れ、広い視野と知識を学ぶため 2 名の外国語指導助手を配置しました。

［実績成果］

生きた英語を聞くことにより、リスニング力が備わるとともに、異文化理解が進みました。

●事業番号118　教育関係団体負担金費　2,878,640 円（教育課）

［総　括］

教育関係の各種団体への負担金を支出します。

北設楽地方教育事務協議会は、北設楽郡３町村教育委員会の権限に属する教育に関する人事・教科書採択等の事務について、共同して管理・執行するとともに、相互に連絡調整を図ることを目的に設置されています。

町現職教育研究協議会は、町内小中学校教員が構成員となり、児童生徒の造形表現を豊かにさせるための造形展の開催、実体験を通じて都市の機能等を学習し理解を深めるための児童都市体験学習の実施、スキー教室等の実施を行います。

教育の充実を目的として各種事業を実施し、児童生徒の学ぶ意欲を高め学力向上を目指すとともに、教職員の資質向上のため、それぞれの小中学校での校内研修、全校対象の各部会研修を実施しています。

●成果目標

各団体の執行管理について情報共有を行いつつ、各事業実施については連携していきます。

●実績結果

各団体へ負担金を支出し、教職員の資質向上のため各種研修を実施しました。

［実績成果］

１　北設楽地方教育事務協議会　負担金

	Ｒ６	Ｒ７	比較
設楽町負担金	765,949	1,075,801	309,852
協議会歳出決算額	1,802,411	1,978,512	176,101

2　北設楽地方教育事務協議会　定例会

日時	場所	主な協議内容
４月 22 日	東栄町	役員等について、学校訪問について、教科指導員について、　等
５月 27 日	東栄町	校長等候補者選考審査について、人事日程について、教職員採用試験について、在校時間等状況調査について　等
７月 5 日	設楽町役場	人事案について、学校訪問について　等
10 月 1 日	東栄町	R8 予算案について、教職員定期人事異動方針について　等
11 月 11 日	東栄町	人事異動方針等について、研究発表大会について　等
２月 27 日	東栄町	教職員定期人事異動について、R8 年間計画について、R8 受入式・R7 退任式について、免許状修了確認期限管理簿について　等

3　現職教育研究協議会　負担金

	Ｒ６	Ｒ７	比較
設楽町負担金	1,103,964	871,751	△232,213

4　現職教育研究協議会　事業内容

項目	内容等
教員指導力向上研修	各校で外部講師を招聘するなど校内研修を実施した
造形展開催	奥三河郷土館１階及び２階展示スペースにて、各校が輪番で展示した
水泳教室	各校で外部講師を招聘し水泳教室を実施した。 ※田口小と清嶺小、名倉小と津具小はそれぞれ合同で実施した。
スキー教室	各校でスキー教室を実施した。 ※田口小と清嶺小、名倉小と津具小はそれぞれ合同で実施した。
都市体験学習	各校で、小学校中学年児童が、買い物体験・施設見学等を行った

●事業番号119　健康診断等事業費　　2,138,458 円（教育課）

［総　括］

学校保健安全法に基づき、児童生徒の定期健康診断や教職員健康診断を実施しています。児童生徒については学校医が行い、教職員には民間の検査機関に委託して実施しています。

また、学校給食調理従事者の検便（赤痢菌・サルモネラ・0157）を毎月２回、ノロウイルスが発生しやすい 11 月から３月までの間については、通常の検便に加えリアルタイムＰＣＲ法によるノロウイルス検査を実施しています。

労働安全衛生法の改正に基づくストレスチェックを、年に１回教職員（休職・産休・育休を除くを除く）を対象に実施しています。

●成果目標

全児童生徒及びすべての教職員（休職・産休・育休を除く）が恒常的に健康を保てるよう健康管理に努めます。調理員の健康管理・健康観察を徹底し、定期的な検便検査を行い、施設内へのウイルスの持込を阻止し、安全安心な給食の提供に努めます。

●実績結果

各種検査、健診及びストレスチェックを行い、心身の健康管理に努めました。

［実績成果］

体調不良等により健診が出来ない児童生徒は、日を改め学校医による検査実施をお願いし、全児童生徒、全職員（休職・産休・育休を除く。）の健康管理に努めました。

調理員のウイルス検便検査を定期的に行い、感染症拡大防止に努めました。

その他、10 月に教職員ストレスチェックを実施しました。

赤痢菌、サルモネラ、病原性大腸菌 0157 検査	321,552 円
ノロウイルス RT-PCR 検査	351,450 円
教職員健診　70 名	812,300 円
学童健診　　（集団健診及び学校医健診）	431,650 円
教職員ストレスチェック　73 名	92,180 円

●事業番号120　事務局管理運営費　9,935,466 円（教育課）

［総　括］

キャリア教育の推進については、設楽中では、中学 2 年生の職場体験だけでなく、中学校全学年を対象に設楽町内で働く方や先輩の話を聴く職業ガイダンスの機会を設けています。生徒にとって身近な職業のメリット・デメリットを知る機会となり、働くことについてより現実的に意識するように取り組むことができました。

児童生徒の通学について、平成 27 年度から通学路安全プログラムに基づく通学路安全点検を実施し、関係機関が連携し児童生徒の通学の安全を図っています。防犯面から実施する緊急合同点検を、通学路安全点検と同時に開催し、道路管理者や警察署など関係機関と共通認識をもち対応を検討しました。

教育職員の業務量・健康確保の適切な管理を行うため、令和８年３月に「設楽町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定した。令和 11 年度までに、１箇月時間外在校等時間が 45 時間以下の割合を 100％とする等の目標値を掲げるとともに、取組の方針等を定めた。

また、愛知県が進めている『休み方改革』に関連する『ラーケーションの日』の創設について、「家族と共に主体的に校外で学ぶ日」として、令和５年 10 月より導入し、多くの児童生徒が本制度を活用しました。

学校閉庁日についても、連続した休暇を取得しやすくし、ゆっくり身体を休め、家族、知人との時間を楽しみ心身ともにリフレッシュすることを目的に、引き続き設定しました。

［実績成果］

1　キャリア教育（中学生）

1 年	ガイダンス事業として、町内在住の方々から話を聞き、さまざまな職業に対する知識や関心を高めた。
2 年	イオンモール豊川にて職場体験を実施した。町内ではなかなか体験できないし仕事に関わった。 国内研修時に、ANA 整備工場の見学、警視庁本部庁舎での仕事の見学などを実施した。
3 年	町内で働く方々から職業講話を聞き、働くことや学ぶことに対する意欲を向上させた。

2　通学路安全点検の実施

通学路安全推進会議を開催するとともに、合同点検（田口小学校区、清嶺小学校区）を実施しま

した。

3　教職員の多忙化解消への取組み　（教育課）

学校閉庁日の設定（計 11 日間）

８月４日(月)～８日(金)、12日(火)～15日(金)	夏季休業期間中
11月21日(金)	県民の日学校ホリデー
１月５日(月)	冬季休業期間中

小中学校（全５校）の在校時間調査

	Ｒ６		Ｒ７		比較
	対象人数	月 45 時間以上時間外勤務者の割合	対象人数	月 45 時間以上時間外勤務者の割合	月 45 時間以上時間外勤務者の割合
４月	59 人	73.7%	60 人	25.0%	△48.7%
５月	59 人	63.2%	60 人	28.3%	△34.9%
６月	59 人	68.4%	60 人	40.0%	△28.4%
７月	59 人	48.4%	59 人	15.3%	△33.1%
８月	59 人	0.0%	59 人	0.0%	－
９月	59 人	63.2%	59 人	13.6%	△49.6%
10 月	59 人	68.4%	59 人	44.1%	△24.3%
11 月	59 人	42.1%	58 人	6.9%	△35.2%
12 月	59 人	5.3%	58 人	6.9%	1.6%
１月	59 人	5.3%	59 人	3.4%	△1.9%
２月	59 人	15.8%	59 人	5.2%	△10.6%
３月	59 人	10.5%	59 人	19.0%	8.5%
月平均		38.6%		17.4%	21.2%

近年の推移

	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
月45時間以上時間外勤務者の割合	54.4%	48.3%	42.1%	35.5%	38.6%	17.4%
前年比	―	△6.1%	△6.2%	△6.6%	3.1%	△21.2%

4　学校規模適正化推進委員会の開催

第２期教育振興基本計画を策定するにあたり、少子化の進展に対応し、児童のより良い教育環境と充実した学校教育の実現に資するため、「小学校の適正規模」について町長の諮問により開催。

公募等による委員７名が計３回にわたり委員会を開催し、３月 27 日に答申されました。

●事業番号7　　小中学校施設維持費　14,806,746 円　（教育課）

［総　括］

児童生徒が安全に学校生活を送るため、点検が法律で義務付けられている小中学校の設備や共同調理場の冷凍冷蔵庫等についての点検等を行いました。

［実績成果］

	Ｒ６	Ｒ７	比較
高圧変電設備保守点検	880,440 円	880,440 円	－

消防設備等保守点検	704,000 円	731,500 円	27,500 円
浄化槽保守点検	147,840 円	165,000 円	17,160 円
調理場冷凍機器保守点検	583,814 円	595,324 円	11,510 円
給食施設害虫駆除	473,110 円	473,110 円	－

●事業番号8　　ＩＣＴ・ギガスクール推進費　18,990,995 円（教育課）

［総　括］

時代に即した授業内容の充実や教職員の多忙化解消に向け、また GIGA スクール構想への対応として、ＩＣＴ機器類の整備を充実し授業等に積極的に活用しています。本町では各小中学校教職員向けにノート型パソコンを各人１台、またデータ管理用サーバーを各校１台ずつ整備し、教職員の事務の効率化や負担軽減を図っています。また、全教職員にタブレット端末を配備し、５年度からは授業時の進捗管理や事前の学習準備をスムーズに行うことができるようになっています。

授業におけるＩＣＴの活用方法や校務支援の拡充を図るため、平成 29 年度からＩＣＴの専門家を各小中学校に派遣する体制を整えており、教職員及び児童生徒対しＩＣＴ機器類の有効活用や新たな活用方策等にかかる助言や指導、支援などを行っています。併せて、専用ヘルプデスクを設けることで学校側からの様々な課題や相談等に対して迅速かつ適切に対応できる体制も整え、学校も積極的に活用することができました。

今後は、タブレット端末等のＩＣＴ機器の更新に向けて、各校ＩＣＴ担当者と情報交換や意見交換を行うなど、均等かつ充実したＩＣＴ環境の整備に取り組んでいきます。

●成果目標

ICT 機器を活用する目的を明確にし、「どんな場面で」「何を見せるか」によって、「学習に対する児童生徒の興味・関心を高める」授業を目指します。

また、校務支援システムを導入し、業務効率化を目指します。

●実績結果

ICT 機器を積極的に授業へ活用し、児童生徒の学習への意欲を高めました。また、校務支援システムを導入に伴い業務効率化による教員の負担軽減に繋がりました。

［実績成果］

1　児童・生徒・教職員用電子機器の配備

学校名	田口小	清嶺小	名倉小	津具小	設楽中	計
児童生徒デスクトップ PC	19	9	15	11	32	86
児童生徒 iPad	212※					212
教員 iPad	16	8	11	12	19	89
教職員ノート PC	18	12	16	15	25	86

※児童生徒 iPad は、児童生徒数の変更により配備調整している。

２　電子黒板の配備

	Ｒ６末台数	Ｒ７末台数	比較
田口小学校	7	7	－
清嶺小学校	4	4	－
名倉小学校	5	5	－
津具小学校	5	5	－
設楽中学校	12	12	－
計	33	33	－

契約期間等	令和６年６月 20 日～令和 11 年６月 30 日 ※リース期間：令和６年７月１日～令和 11 年６月 30 日
契約金額	17,536,200 円（月額リース料 292,270 円）

３　校務支援システムの活用

契約期間等	令和６年６月 12 日～令和 11 年８月 31 日 ※導入期間：令和６年９月１日～令和７年３月 31 日 ※利用期間：令和７年４月１日～令和 11 年８月 31 日
契約金額	22,968,000 円（月額リース料 382,800 円）
主な機能等	小中学校５校の全教職員 PC において校務支援システムを利用 ・グループウェア（時数管理、在校記録、文書受理発送管理簿等） ・学籍管理、出欠管理、給食管理、進級・成績管理、保健情報管理等

●事業番号9　　会計年度任用職員配置事業　19,228,888 円（教育課）

［総　括］

小中学校の運営に必要な会計年度任用職員として、特別支援教育支援員・児童生徒介助員のほか、教育活動支援員、部活動指導員、スクールサポートスタッフを配置しています。

設楽町では、各学校に設置される校内教育支援委員会での児童生徒への支援の協議結果を受け、設楽町教育支援委員会規則（平成 26 年 11 月 11 日教育委員会規則第 2 号）に基づき設置された教育支援委員会において、特別な支援を必要とする児童生徒の就学先が協議されます。

この協議結果を基に、特別支援学級の継続や新規設置を愛知県へ要望しています。また、基本的に通常学級に在籍しつつ特別な支援を要する児童生徒に対して特別支援教育支援員を配置し、生活面・学習面の支援を行っています。

また、平成 29 年度からは、特別支援学級に在籍する児童に対しても、特に必要と判断した場合は支援員を配置しています。

令和 5 年度からは、重度心身障害児が名倉小学校を卒業し設楽中学校へ入学を受け、特別支援教育支援員とは別に、児童生徒介助員（2 名）を配置しています。

令和 6 年度からは、地域の方による部活動指導員を配置しています。

●成果目標

要支援児童生徒が学びやすい環境をつくるため、必要に応じて特別支援教育支援員や学習指導員を配置します。

小中学校の連携はもとより、幼少期から大人までの継続的な支援体制の構築に向けて関係機関と連携し、要支援児童生徒が将来、自立した生活を送ることができるよう取り組みます。

●実績結果

特別支援教育支援員等を各校へ適正に配置し、支援が必要な児童生徒が学校生活を送りやすい環境を整備しました。

[実績成果]

1　設楽町教育支援委員会により協議の対象となった児童生徒数

	Ｒ６	Ｒ７	比較
小学校	10 人	15 人	5 人
中学校	13 人	14 人	1 人
合　計	23 人	29 人	6 人

2　特別支援教育支援員の配置

	Ｒ６	Ｒ７	比較
田口小学校	5 人	3 人	△2 人
清嶺小学校	－	2 人	2 人
名倉小学校	2 人	2 人	－
津具小学校	3 人	3 人	－
設楽中学校	5 人	3 人	△2 人
合　　計	15 人	13 人	△2 人

９款　教育費

２項　小学校費

１目　小学校管理費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P189～	63,939	62,760	0	0	3,359	59,401

●事業番号116　小学校管理運営費　1,955,800 円　（教育課）

●事業番号 2～　●事業番号 5　４小学校運営費　32,344,033 円　（各小学校）

［総　括］

１　小学校学校医等の委嘱

学校保健安全法第 23 条に基づき、各小学校には学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を置いています。学校医は、定期健康診断や保健指導に従事し、学校保健計画及び学校安全計画の立案に参与することや、保健指導等健康管理について予防や助言等を行っています。併せて、就学時健診も学校医が行っています。

学校歯科医は、学校医同様に定期健康診断や保健指導に従事するとともに、学校保健計画や学校安全計画の立案に参与すること、歯の検査や、う歯、その他歯科疾患の予防措置専門的事項に関する保健管理に関する指導等に従事しています。

学校薬剤師は、学校医、学校歯科医同様に定期健康診断や保健指導に従事するとともに、学校保健計画や学校安全計画の立案に参与すること、学校において使用する医薬品、毒物、劇物や関係用具や材料の管理、北設楽郡学校保健会が行う空気環境衛生検査の結果に基づき指導助言等に従事しています。

２　小学校学校施設管理

各学校が利用している木製の机の天板を新入学生用として毎年購入しています。令和元年度からは森林環境譲与税を財源として購入し、木材利用の更なる促進を図っています。

３　学校給食

町内３箇所の単独調理場において安心安全な給食を提供するため、施設の管理等を適正に行っています。併せて、衛生管理に関する知識の習得や実践を積極的に進め、給食関係者の意識向上に努めています。給食費保護者負担分については、令和６年度から継続して２分の１の助成行いましたが、１月から３月までの３か月に限り、保護者負担分を国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当したことから、無償化することができました。※教職員等の給食費は対象外

また、令和２年度から町一般会計で賄材料費を支出しています（公会計化）。これにより食材の高騰等に対して、臨機応変に対応することができました。

●成果目標

①小学校施設管理

児童、教職員の学校生活が快適になるよう備品調達及び、老朽化箇所や施設等の修繕を行い、不具合を解消します。

②学校医等の委嘱

学校医３名、学校歯科医３名、学校薬剤師４名を委嘱し、各学校の定期健康診断や保健指導等に従事していただくとともに、必要に応じて各校の学校保健委員会において指導助言等をいただき、学校保健管理及び学校環境を整えます。

③学校給食賄材料

安定した学校給食が提供できるよう取り組みます。保護者の負担を軽減します。

④各小学校の運営

各小中学校の特色を生かした学校運営を目指します。

●実績結果

①小学校施設管理

児童、教職員の学校生活が安心・安全に送れるように、老朽化箇所や施設等の修繕を行い、不具合を解消しました。

②学校医等の委嘱

学校医３名、学校歯科医３名、学校薬剤師４名を委嘱し、学校保健管理及び学校環境を整えました。

③学校給食賄い材料

保護者の負担軽減に配慮し、安定した学校給食を提供しました。

④各小学校の運営

各小学校の特色を生かした学校運営を心掛けました。

[実績成果]

１　小学校学校医等の委嘱　987,000 円

学校医３名、学校歯科医３名、学校薬剤師４名の体制により、各学校の定期健康診断や保健指導また学校環境指導助言等の活動に従事していただきました。

２　小学校学校施設管理　85,800 円

令和7年度新入学生用並びに転入生用の机の天板（12 枚）	85,800 円

※森林環境譲与税を充当しています。

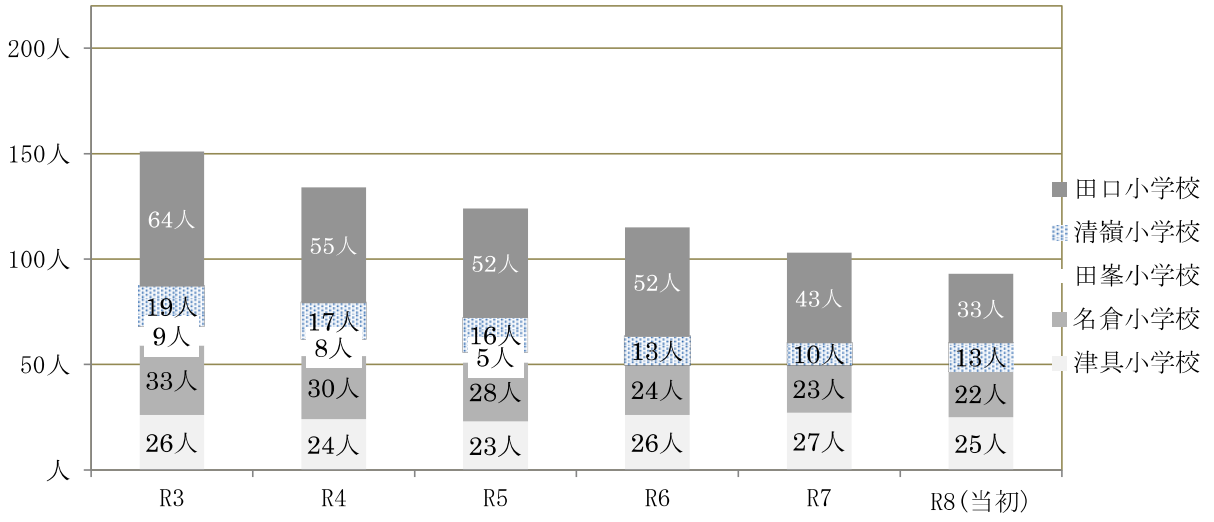


３　小学校学校経営　35,582,163 円（教育課、各小学校）

(1) 小学校全体（４校）　　（　）内は特別支援学級数関係

	Ｒ６	Ｒ７	比較
学級数	19(3)学級	20(4)学級	1(1)学級
児童数	115(3)人	103(5)人	△12(2)人
教職員数	53 人	57 人	4 人
運営管理費	32,434,343 円	32,344,033 円	△90,310 円

小学校　児童数の推移



4　各小学校

(1) 田口小学校

「あいさつみんなへ、いっしょにうたおう、うんどうだいすき、えがおいっぱい、おんどくいちばん」を教育目標に定め、重点として、学習（授業づくり）、特別活動（集団づくり・人間関係づくり）、特別支援（個に応じた支援づくり）を掲げて教育活動を展開しました。

学校運営管理　　（　）内は特別支援学級関係

	R６	R７	比較
学級数	7(1)学級	7(1)学級	-(-)学級
児童数	52(1)人	43(2)人	△9(1)人
教職員数	18 人	17 人	△1 人
運営管理費	5,907,937 円	5,317,041 円	△590,896 円

※令和６年４月より田峯小学校と学校統合しました。

(2) 清嶺小学校

「精一杯問い続ける子、いつも明るくさわやかな子、礼儀正しくきまりを守る子、いっぱい体を動かす子」の育成をめざし、「２１世紀を生き抜く知力・体力を持たせるとともに、郷土を愛し、他を思いやる人間性豊かな「清嶺っ子」を育てる。」を教育目標とし、重点として、授業づくり、健康づくり、心づくり、を掲げて教育活動を展開しました。

学校運営管理　　（　）内は特別支援学級関係

	R６	R７	比較
学級数	4(1)学級	3(0)学級	△1（△1）学級
児童数	13(1)人	10(0)人	△3(△1)人
教職員数	11 人	12 人	1 人
運営管理費	7,147,259 円	6,531,434 円	△615,825 円

(3) 名倉小学校

「進んで勉強　元気に運動　力を合わせて働く子」を校訓、「優れた個性を伸ばし、知・徳・体の

調和のとれた人間形成を図る。」を教育目標とし、重点として、生活を見つめよう、学習をみつめよう、地域をみつめよう、を掲げ教育活動を展開しました。

学校運営管理　　（　）内は特別支援学級関係

	Ｒ６	Ｒ７	比較
学級数	3(0)学級	4(1)学級	1(1)学級
児童数	24(0)人	23(1)人	△1(1)人
教職員数	11 人	14 人	3 人
運営管理費	7,190,034 円	7,725,308 円	535,274 円

(4) 津具小学校

「仲よく助け合う子、みつけつくりだす子、力いっぱいやりぬく子」の育成をめざし、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな『たくましい津具っ子』」を教育目標とし、重点として①心と体づくり、②授業づくり、③ふるさとづくり、を掲げ教育活動を展開しました。

学校運営管理　　（　）内は特別支援学級関係

	Ｒ６	Ｒ７	比較
学級数	5(1)学級	6(2)学級	1(1)学級
児童数	26(1)人	27(2)人	1(1)人
教職員数	13 人	14 人	1 人
運営管理費	12,189,113 円	12,770,250 円	581,137 円

５　学校給食（小学校単独調理場のみ）

		Ｒ6	Ｒ７	比較
清嶺小学校	賄材料費	1,725,576 円	1,623,098 円	△102,478 円
	給食費徴収額	940,740 円	829,412 円	△111,328 円
名倉小学校	賄材料費	2,165,709 円	2,276,872 円	111,163 円
	給食費徴収額	1,266,900 円	1,218,750 円	△48,150 円
津具小学校	賄材料費	2,609,000 円	2,597,766 円	△11,234 円
	給食費徴収額	1,387,300 円	1,310,850 円	△76,450 円
合　計	賄材料費	6,500,285 円	6,497,736 円	△2,549 円
	給食費徴収額	3,594,940 円	3,359,012 円	△235,928 円

給食単価（賄材料費）：小学校 300 円

徴収額：児童：４月～12 月は 150 円徴収（1/2 補助）、１～３月は無料（全額補助）

教職員 300 円（補助なし）

９款　教育費

２項　小学校費

２目　小学校振興費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P195～	1,452	1,246	31	0	0	1,215

●事業番号116　各種補助事業費　673,010 円（教育課）

［総　括］

学級費補助金	心身ともに健全な児童を育成するため、保護者の経済的負担を軽減し、児童一人当たり 4,000 円の教材、教具購入の補助をします。
要・準要保護児童援助費	義務教育の円滑な実施と児童の保護者負担軽減のために、給食費、学用品費、通学用品、新入学用品、校外活動費、修学旅行費を支給します。また、次年度就学児童生徒に対し、就学前支給を行います。
特別支援就学奨励費	特別な支援を必要とする児童が、特別支援学級などで学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況などに応じて補助（準要保護児童援助費の項目の１/２を支給）します。

［実績成果］

１　各種指標

		Ｒ６	Ｒ７	比較
学級費補助金		462,300 円	415,900 円	△46,400 円
要・準要保護児童援助費		5 人	4 人	△1 名
		223,740 円	195,690 円	△28,050 円
	上記の内、就学前支給（次年度就学児童）	0 人	0 人	－
		0 円	0 円	－
特別支援教育就学奨励費		1 人	2 人	1 人
		19,670 円	61,420 円	41,750 円

●事業番号117　教材用備品整備費　572,526 円（教育課）

［総　括］

各校から要望のあった児童に配付する副読本等を購入します。

［実績成果］

副読本、補助教材、デジタル教科書等・・・572,526 円

９款　教育費

３項　中学校費

１目　中学校管理費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P197～	7,227	6,897	0	0	0	6,897

●事業番号116　設楽中学校運営費　6,648,949 円　（教育課、設楽中学校）

［総　括］

平成 28 年度に策定した設楽町教育大綱では、「教育は人づくり」を共通理念に掲げ、「めまぐるしく変わる社会情勢、今後ますます進む国際化の中で、柔軟に対応し適応することができる、たくましい子どもの育成」と「礼節、思いやりの心を持ち、「ふるさと」設楽町に愛着と誇りを持った「地域を支える人材」の育成」を目指した教育活動を展開しました。

●成果目標

「己に克つ ― 自ら学ぶ 自ら鍛える 自ら律する」生徒の育成を教育目標とするとともに、①「自ら学ぶ」チームによる活動の推進、②「自ら鍛える」チームによる活動の推進、③「自ら律する」チームによる活動の推進、④「働き方改革」プロジェクトを推進する、を重点に掲げ教育活動を展開します。

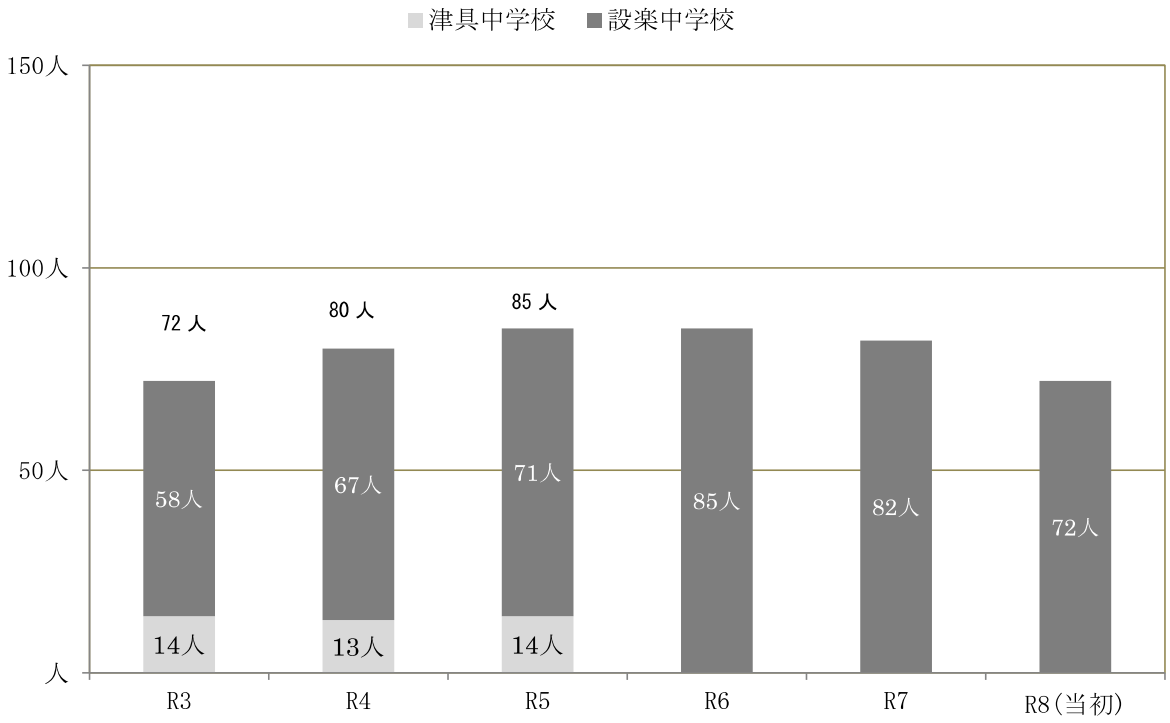
［実績成果］

「己に克つ　―　自ら学ぶ 自ら鍛える 自ら律する」生徒の育成をめざし、「自他の生命を尊重し、愛と正義を貫くことのできる生徒を育てる。」「自ら学び、自ら心や体を鍛え、たくましく生きる生徒を育てる。」「勤労を尊び、奉仕と思いやりの心をもって社会に貢献できる生徒を育てる。」「郷土に誇りをもちつつ、世界に目を向け広い視野で物事を考える生徒を育てる。」を教育目標とし、重点として①「自ら学ぶ」チームによる活動の推進、②「自ら鍛える」チームによる活動の推進、③「自ら律する」チームによる活動の推進、④「働き方改革」プロジェクトを推進する、を掲げ教育活動を展開しました。

学校別運営管理　　（　）内は特別支援学級関係

	Ｒ６	Ｒ７	比較
学級数	6（3）学級	6（3）学級	-(-)学級
生徒数	85（9）人	82（10）人	△3(1)人
教職員数	19 人	21 人	2 人
運営管理費	6,966,724 円	6,649,999 円	△316,725 円

中学校　生徒数の推移



※令和６年３月末に津具中学校が閉校となりました。

９款　教育費

３項　中学校費

２目　中学校振興費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P197～	5,291	4,641	72	0	0	4,569

●事業番号116　各種補助事業費　1,364,990 円（教育課）

［総　括］

学級費補助金	心身ともに健全な生徒を育成するため、保護者の経済的負担を軽減し、生徒一人当たり 6,000 円の教材、教具購入の補助をします。
中学校体育的部活動費補助金	部活動に伴う保護者の負担を軽減し、部活動の円滑な実施と振興を図るため、部活動での交流試合輸送費及び大会参加費等に要する経費の補助をします。
進路指導費補助金	中学校における円滑な進路指導の充実と保護者の負担軽減を図るため、進路指導に要する経費（資料作成、勤労体験、調査等）を補助します。
中学校体育大会選手派遣費交付金	保護者の負担軽減を図り、生徒に広くスポーツ・文化の実践の機会を与え、心身ともに健全な育成を図るため、陸上、駅伝大会や部活動で郡・東三大会等に出場のために要する経費を交付します。
要･準要保護児童援助費	義務教育の円滑な実施と児童の保護者負担軽減のために、給食費、学用品費、通学用品、新入学用品、校外活動費、修学旅行費を支給します。
各学校備品等	学校から要望のあった生徒へ配付する副読本、授業で活用するデジタル教科書等を整備します。

［実績成果］

項目		R6	R7	比較
学級費補助金		514,500 円	492,000 円	△22,5800 円
中学校体育的部活動費補助金		276,089 円	248,833 円	△27,256 円
進路指導費補助金		229,380 円	180,076 円	△49,304 円
要・準要保護生徒援助費		9 人	7 人	△2 人
		873,905 円	423,206 円	△450,699 円
	上記の内、就学前支給	2 人	0 人	△2 人
	（次年度就学生徒）	126,000 円	0 円	△126,000 人
中学校体育大会選手派遣費交付金		―	―	－
特別支援教育就学奨励費		5 人	5 人	－
		283,189 円	145,121 円	△136,068 円

●事業番号117　教材用備品整備費　3,275,927 円（教育課）

［総　括］

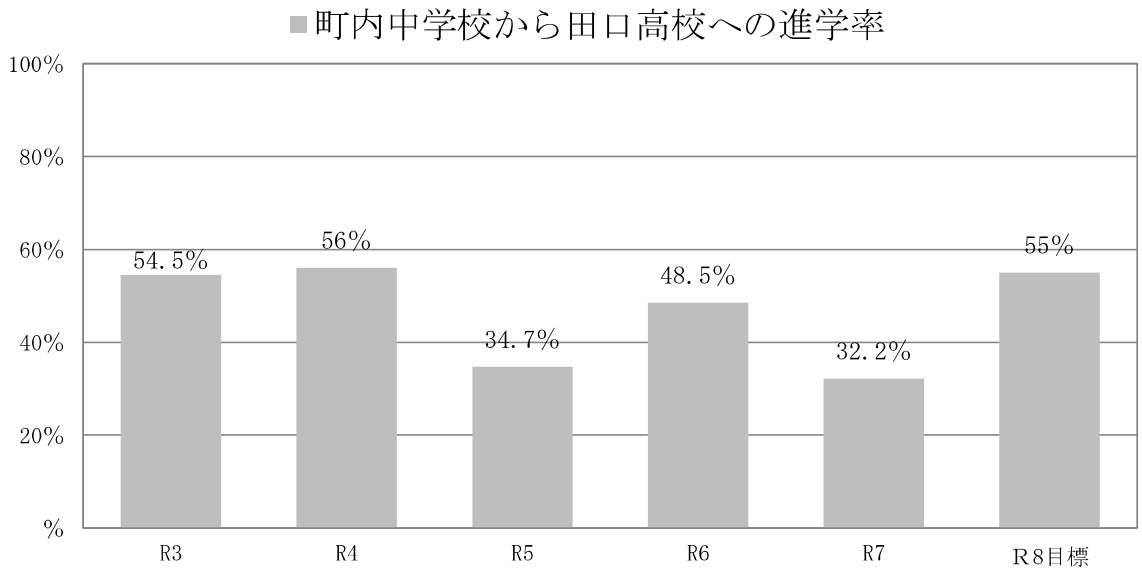
学校から要望のあった生徒へ配付する副読本、授業で活用するデジタル教科書等を整備します。

［実績成果］

副読本、補助教材、デジタル教科書等・・・3,275,927 円

［主な指標・グラフ］

総合計画



9款　教育費

4項　社会教育費

－　２目　社会教育推進費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P199～	1,366	1,167	0	0	48	1,119

✧　社会教育活動推進費　882,974円　（教育課）

●

成人者を祝福するとともに青少年教育の推進のため、はたちを祝う会を開催しています。式典のほか、記念アトラクションとして成人者の将来への糧となるよう著名人による講演会を行っています。今回は講師として元バスケットボール選手の太田敦也氏をお招きし、『一歩ずつ確実に。その積み重ねがきみの未来を作る！』をテーマに、経験談を交えつつ今後の生き方の参考になるお話をいただき、サプライズイベントでは、成人者と太田さんとのボール取り対決などが行われ、会場を盛り上げました。

家庭教育推進に関連した事業として、津具地区家庭教育推進運営協議会では、保育園、小学校、中学校の児童生徒とその保護者及び住民を対象としたコンサートや講演会を開催しています。

➢

1　はたちを祝う会

開 催 日	令和８年１月 11 日(日)
会　　場	奥三河総合センター　講堂
内　　容	式典・記念アトラクション　トークショー （講演：元バスケットボール選手　太田 敦也　氏）
出席者数	29 名（町内中学校を卒業し 20 歳を迎えた方 33 名）













２　親子学習会（津具地区家庭教育推進協議会事業）

開催日	令和７年９月 26 日(金)
会　場	津具小学校体育館
内　容	「津具の夜を楽しむ会」体ほぐし・体つくり運動、ドッチビー 講師：津具小学校　山口真未　教諭
参加人数	４４名





✧　生涯学習のまちづくり推進　284,053 円（教育課）

●

町民がスポーツを楽しみ、健康で元気に暮らすきっかけづくりとなるよう、生涯スポーツの推進をしていきます。

７年度はちびリンピック大会を実施し、小学生を中心に 100 名余の町民が参加しました。昔から受け継がれている子どもの遊びで競い合い、子どもから大人まで楽しむ機会となりました。

町民グラウンド・ゴルフ大会は、若者から高齢者まで気軽に楽しむことできる世代を越えた交流の場づくりを目的に開催しています。７年度は天候不良により中止となりましたが、70 名余の町民が参加しています。

とことんふるさとウォーキングは、町内外のウォーキングコース等を歩き健康増進を図ることを目的に開催しています。７年度は道の駅したらから塩津温泉芳泉荘まで歩きました。毎年定員に近い応募があり、参加者からは良好なご意見をいただいています。

今年度、生涯学習講座 10 講座行いました。小学生を対象とする講座のなかで、料理教室では、設楽町で採れた野菜を使った料理やデザート作りのほか、料理をする上で必要な動作を学ぶ機会などを創出しています。

●成果目標

町民の学ぶ機会を増やすため、生涯学習講座の充実を図ります。

また設楽町中学生人材育成研修事業で生徒が考えた「設楽町のまちづくり」プランを生涯学習講座に活用していきます。

●実績結果

生涯学習講座の充実を図り、多くの方の参加がありました。

今後、中学生から提案のあった「設楽町のまちづくり」プランについて講座への活用を検討します。

1　ちびリンピック大会

開催日	６月２９日（日）
会　場	設楽中学校体育館・武道場
参加者数	７５名

2　とことんふるさとウォーキング

開催日	３月１５日（日）
場　所	塩津温泉芳泉荘
参加者数	２０名



3　生涯学習講座

開催日	内容	場所	参加者
6 月 8 日(土)	体力アップ教室	ふれあい広場 (屋内コート)	小学生　11 人
5 月 18 日(日)	健康公開講座	田口特産物振興センター	一般　31 人
6 月 26 日（木)	歌を楽しむ会	田口特産物振興センター	一般　9 人
7 月 26 日(土)	料理教室	したら保健福祉センター	小学生　　14 人
7 月 24 日(木)	郷土館見学	奥三河郷土館	小学生　11 名
8 月 1 日(金)			小学生　9 人
8 月 4 日(月)			小学生　16 人
9 月 12 日(金)	ヨガ	田口特産物振興センター	小学生　12 人
10 月 15 日（水)			
10 月 4 日(土)	編み物教室	田口特産物振興センター	小学生以上　8 人
11 月 14 日（金)	俳句	田口特産物振興センター	一般　5 人
11 月 16 日（土)	レザークラフト	田口特産物振興センター	小学生以上　11 人
12 月 13 日（土)	リース作り	田峯特産物直売所	小学生以上　12 人



健康公開講座



郷土館見学



ヨガ



リース作り

９款　教育費

４項　社会教育費

３目　文化文化財費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P199～	5,809	5,462	0	0	66	5,396

●事業番号116　指定文化財保護推進費　2,234,334 円（教育課）

［総　括］

設楽町には、84 件の指定文化財があり、国指定が３件、愛知県指定が 12 件、町指定が 69 件となっています。内訳は史跡 17 件、無形民俗が 11 件、有形民俗が９件、天然記念物が 39 件、名勝が２件、その他が６件です。また、２件の国登録有形文化財があります。これらの貴重な文化財を保存・活用していくことが求められています。

昨年度、設楽町の史跡・文化財巡りを名倉地区で実施し、町民へ文化財の価値を再確認するとともに、関心を持つ機会を設けました。８年度以降も別地区で引き続き開催し、文化財の魅力を町民に伝えていきたいと思います。また、ウバヒガンザクラを保存するため、令和５年度から樹勢回復事業に取り組んでいきます。

その他、民俗文化財保護団体の積極的な保存維持の取り組みの一助となるよう、活動費補助を行っています。

［実績成果］

１　文化財保護団体の活動費補助　220,144 円

８団体（田峯田楽、津具花祭、田峯念仏踊、参候祭、八幡神社本殿、田峯観音舞台、貝津田棒の手、巌嶽神社子供三番叟）

２　設楽ダム関連の埋蔵文化財の発掘

下延坂遺跡、上戸神遺跡、境川林道遺跡

３　ウバヒガンザクラ樹勢回復事業（５年計画の３年目）　1,710,500 円

●事業番号117　文化財保護審議会委員活動費　287,300 円（教育課）

［総　括］

町文化財保護審議会は、文化財の保存・活用に中心的な役割を果たすとともに、奥三河郷土館、津具民俗資料館及び津具文化資料展示センターの運営についても、関わっています。６名の委員がそれぞれの専門分野で活躍しています（令和７年度３月末時点）。

［実績成果］

文化財保護審議会の活動　報酬 275,384 円（委員６名）

審議会開催　　６回

設楽町の史跡・文化財巡り　11 月 30 日名倉地区

町内現地確認　２回　旧名倉中学校、段戸国有林内（仮称）出来山金山跡

視察研修　　陸上自衛隊豊川駐屯地三河史料館、新城市設楽原歴史資料館、新城市長篠城址史跡保存館、新城市鳳来寺山自然科学博物館



視察研修



設楽町の史跡・文化財巡り

●事業番号118　文化振興事業費　2,940,106 円（教育課）

［総　括］

文化は、潤いのある生活を送るためには欠かせないものであり、人々に心の安らぎと豊かさ、生きる喜びをもたらします。設楽町では、都市部のように民間が主宰する文化講座等は望めませんが、文化協会を中心としたサークル的な活動や地域に残る文化の継承等を通じて、その推進を図っています。

7 年度から名称を「したら文化のつどい」と変更し、つぐグリーンプラザを会場に文化協会会員による芸能発表、小中学校の児童生徒による合奏・合唱や文化芸術鑑賞会を行いました。

設楽町文化協会は会員の高齢化により、各クラブの活動が縮小しつつありますが、町がその活動をサポートすることでクラブ活動を継続することができ、それぞれの仲間づくりや生きがいづくりなど、生活を豊かにする一助となっています。

●成果目標

文化財保護審議会や関係機関等と連携しながら、貴重な指定文化財の保存・活用に取り組んでいきます。

文化協会が継続的に活動できるよう支援するとともに、町民が文化芸術に興味を持ってもらえるよう進めます。

●実績結果

文化財保護審議会や関係機関等と連携しながら、貴重な指定文化財の保存・活用に取り組むとともに、文化協会が継続的に活動できるよう支援しました。

［実績成果］

1　したら文化のつどいの開催

開催日	10 月 29 日(水)～11 月 10 日(月)　文化週間
会　場	つぐグリーンプラザ、奥三河郷土館ギャラリー(作品展示のみ)
内　容	文化協会会員による芸能発表、作品展示、小学生の発表等








2　文化芸術公演

開催日	11 月 1 日(土)
会　場	つぐグリーンプラザ　ホール
内　容	ＴＥＡＭパフォーマンスラボ　「ミラクルイリュージョンサーカス」



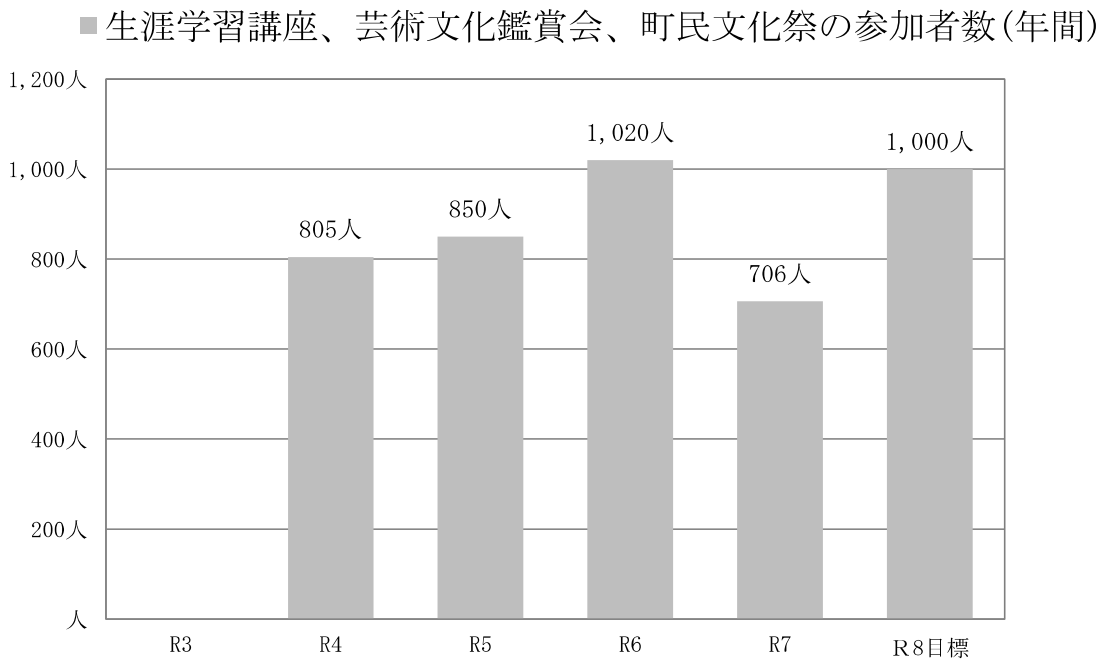



3　文化協会

設楽町文化協会（20 クラブ・会員 173 人）への補助金の交付	111,500 円
「文化したら」の発行（2,000 部×3 回）	478,500 円　（カラー版）

[主な指標・グラフ]

町総合計画



９款　教育費

４項　社会教育費

４目　奥三河郷土館費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P201～	17,108	15,615	0	0	1,410	14,205

●事業番号116　奥三河郷土館費　8,892,431 円（教育課）

［総　括］

令和３年５月 13 日に新規移転オープンした奥三河郷土館は、培われてきた歴史や民俗風土、自然の営み等を伝承し後世に伝えるといった本来の役割を果たすと同時に観光施設としての要素も加わり、より広く認知されるとともに大きな集客効果を上げています。引き続き、何度でも訪れたくなる快適かつ魅力的な施設として維持していくよう取り組んでいます。

●成果目標

隣接する産業振興施設（設楽町観光協会や各テナント等）等と事業連携して様々なイベントを展開するなど、引き続き設楽町の魅力発信に努めます。

また、来場者に各種収蔵展示の詳細な情報を提供できるよう、デジタルデータを活用したサービス活用を展開していきます。

●実績結果

観光協会や関係機関と連携し、イベントを開催し、町の魅力発信に寄与しました。

[実績成果]

オープン５年目となり、当初ほどの集客には及びませんでしたが、連日のように多くの方々に来場いただき、各施設や収蔵品の魅力を知っていただくことができました。また、７年度は特別展「戦後 80 年～語り継ぐ記憶～子どもたちに伝えたい『私の昭和 20 年８月 15 日の記録』」をはじめとするイベント等を実施するなど、関係機関とも連携し取り組んでいます。

全体として、施設の案内表示の工夫や道の駅したら、町ホームページ等の媒体を用い、展示資料等の情報を掲載、紹介するなど改善が必要です。今後は障がい者の方にも分かりやすい表示の工夫も求められます。

町観光協会や町文化財保護審議会など関係団体等とも協議・連携しながら順次対応していきます。

〔入館者数〕

	入館者数	来館者数		入館者数	来館者数
４月	202（ 25）人	1,443 人	１０月	181（ 58）人	1,202 人
５月	217（624）人	2,385 人	１１月	142（718）人	2,210 人
６月	210（ 40）人	1,538 人	１２月	165（ 23）人	617 人
７月	265（ 64）人	1,624 人	１月	205（ 30）人	760 人
８月	411（139）人	3,348 人	２月	196（ 52）人	1,091 人
９月	222（ 52）人	1,477 人	３月	258（ 28）人	1,312 人
			計	2,674（1,853）人	19,007 人

※「入館者数」は２階有料エリアへの入館者数で、（　）内は無料入館者数。

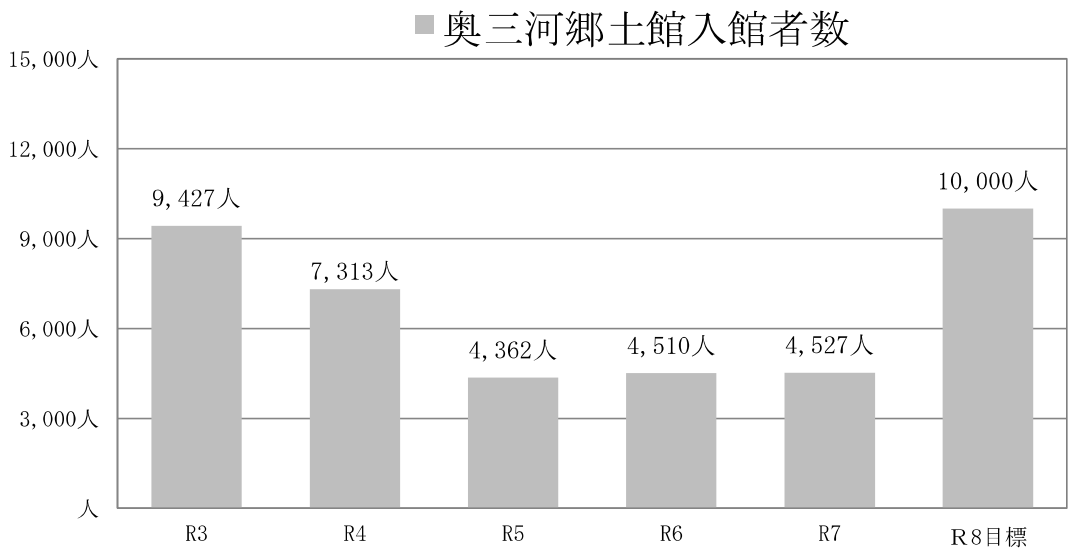
※　５月は無料ウィーク（5/10～19）期間中の 583 人を含む。

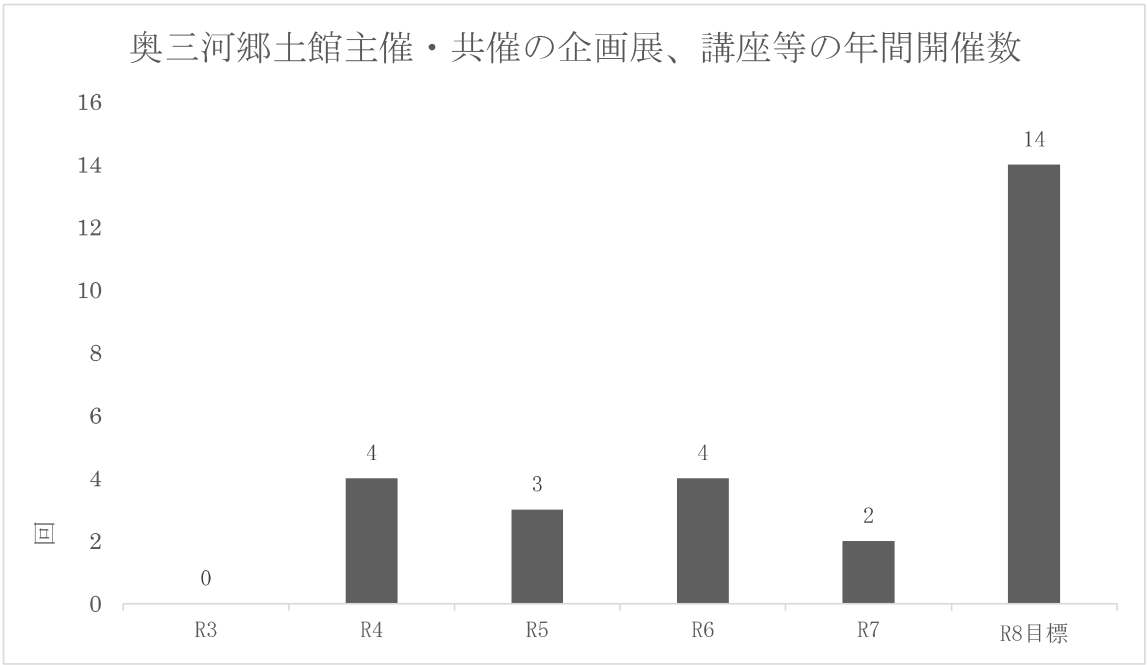
※　１１月は無料ウィーク（11/21～27）期間中の 688 人を含む。

※来館者数は２階無料エリアを観覧した人数

［主な指標・グラフ］

町総合計画





施設外観



「戦後 80 年～語り継ぐ記憶～
子どもたちに伝えたい『私の昭和 20 年 8 月 15 日の記録』」
展示様子



９款　教育費

４項　社会教育費

５目　町民図書館費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P203～	6,790	6,062	0	0	0	6,062

●事業番号116　町民図書館管理運営費　6,062,161 円（教育課）

［総　括］

町民の学習や調査研究、趣味、教養等に必要な図書などの資料を収集、整理及び保存する施設として、図書館を運営しています。図書館サービスとして、図書の貸出だけでなく、視聴覚資料等の貸出やお話会などのイベント等を行っています。また、管理業務については、臨時傭人を雇用し、図書館の受付・管理業務等を行っています。

できる限り幅広い分野の図書の購入を進めていますが、所蔵のない図書については、愛知県図書館や県内の他図書館から借用して利用者のニーズに応じるよう努めています。また、２ヶ月に１回「図書館だより」を発行して、図書館の蔵書案内や利用促進を図っています。

衛生面の配慮がより求められる施設であることから、利用者に安心して気持ちよく利用していただくため、設楽町民図書館、つぐグリーンプラザ図書室の両方に図書殺菌庫および除菌スリッパボックスをそれぞれ配置しています。

また、図書検索システムをオンライン化し両図書館をネットワーク化することで、自宅に居ながらでも蔵書を容易に検索できるようになりました。

●成果目標

利用者（図書貸出冊数）を維持します。図書館用ホームページを活用し、利用者へ情報を発信していきます。

●実績結果

設楽町民図書館は、利用者及び書籍の貸出冊数は増加したが、ＤＶＤは減少しました。つぐグリーンプラザは、利用者数及び書籍、ＤＶＤの貸出冊数がすべて減少しました。

［実績成果］

１　設楽町民図書館

		Ｒ６	Ｒ７	比較
雇用人数		7 人	6 人	△1 人
入館者数		2,279 人	2,354 人	75 人
貸出人数		1,336 人	1,372 人	36 人
貸出冊数	書籍	4,114 冊	4,406 冊	292 冊
	ＤＶＤ	187 本	169 本	△18 本
購入書籍	児童用・一般用	164 冊・177 冊	108 冊・84 冊	△56 冊・△93 冊
	ＤＶＤ	6 本	0 本	△6 本

２　つぐグリーンプラザ

	Ｒ６	Ｒ７	比較
雇用人数	5 人	5 人	－人
入館者数	2,047 人	1,889 人	△158 人
貸出人数	973 人	891 人	△82 人

貸出冊数	書籍	4,139 冊	4,047 冊	△92 冊
	ＤＶＤ	350 本	2480 本	△102 冊
購入書籍	児童用・一般用	169 冊・139 冊	121 冊・90 冊	△48 冊・△49 冊
	ＤＶＤ	4 本	0 本	△4

3　これまでに温かい寄附により開設された文庫

	購入年度	購入目的	設置場所
なおたか文庫	H26～H30	ブックスタート用貸出図書	設楽町民図書館
奥三河ロータリー文庫	H27～H29	貸出図書	つぐグリーンプラザ
しのみや文庫	H28～R2	乳幼児から高校生向けの貸出図書	設楽町民図書館 つぐグリーンプラザ
かわはら文庫	R4～R8	貸出図書	つぐグリーンプラザ

［主な指標・グラフ］［主な指標］

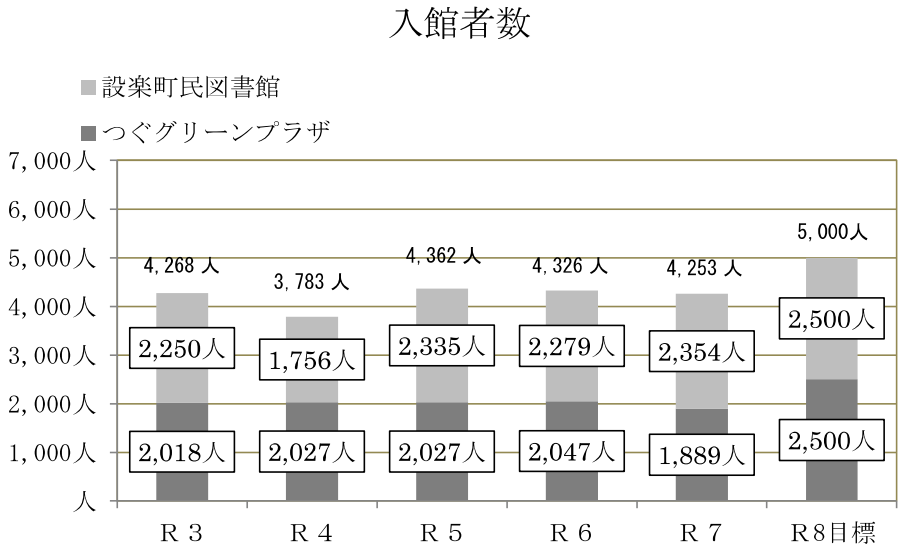
町総合計画

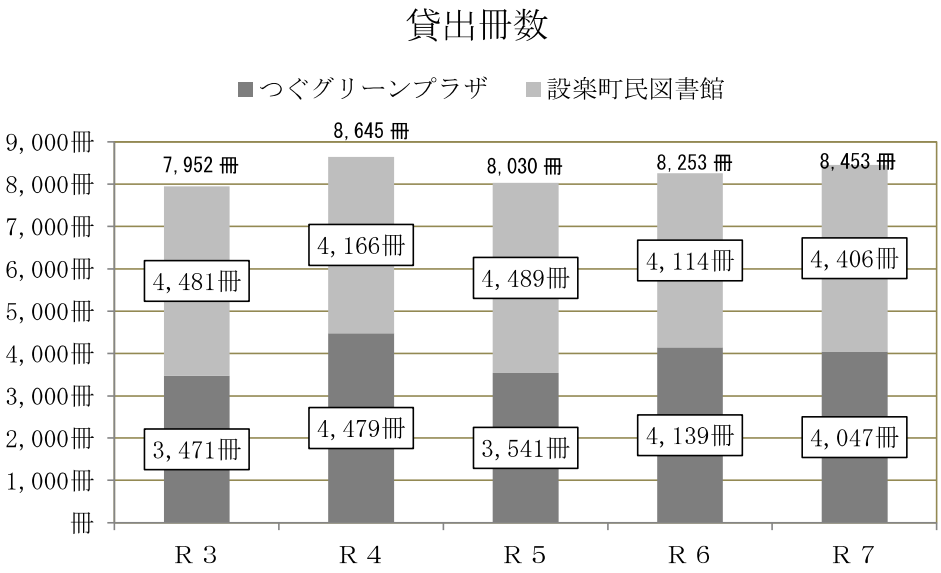












９款　教育費
　４項　社会教育費

６目　中学生海外等派遣事業

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P203～	21,349	19,889	4,613	0	15,275	1

●事業番号116　中学生海外等派遣事業　19,888,661 円（教育課）

[総　括]

豊かな感受性と自由な発想を持つ中学生を設楽町のように自然環境に恵まれたニュージーランド又は北海道に、設楽中学校３年生を派遣し、ファームステイを通して現地の方と共同生活等をすることなどのファーム体験を実施しました。

中学校祭(10 月開催)で、参加生徒による派遣事業の報告会を開催しました。

●成果目標

中学生海外派遣事業・・・ニュージーランド（5 月 15 日～21 日）
中学生国内派遣事業・・・北海道（５月 15 日～17 日）

●実績結果

予定どおり海外及び国内派遣事業を実施するともに、中学校祭において、派遣事業報告を行いました。

[実績成果]

１　海外派遣事業

派遣期間	５月 15 日(木)～21 日(水)　７日間
参 加 者 (計 33 名)	設楽中学校 3 年生 27 人、 引率者 6 人（設楽中学校教職員 4 人、町教育委員会 2 人）
派 遣 先	ニュージーランド（オークランドおよびワイカト地方）
研修内容	・農畜産業を営む家庭へのファームステイ（７家族） ・現地中学生（Onehunga High School）との交流　等
派遣委託料	18,445,556 円
保護者負担金	1,620,000 円（60,000 円/人）

２　国内派遣事業

派遣期間	５月 15 日(木)～17 日(土)　３日間
参 加 者 (計７名)	設楽中学校 3 年生 3 人、 引率者 3 人（設楽中学校教職員 2 人、町教育委員会 1 人） 同行者１名（保護者１名）
派 遣 先	北海道
研修内容	・ノーザンホースパーク（体験型馬のテーマパーク） ・旭山動物園、ファーム富田（ラベンダー園）　等
派遣委託料	1,400,135 円
保護者負担金	18,000 円（6,000 円/人）



Onehunga High School



オークランド空港（ニュージーランド）



オークランド市内



中部国際空港



旭山動物園

９款　教育費

５項　保健体育費

－　１目　保健体育総務費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P205～	2,168	1,729	0	0	0	1,729

✧　社会体育活動推進費　1,546,108 円（教育課）

●

町では現在７名のスポーツ推進委員を委嘱し、各委員が各種スポーツ大会や生涯学習講座等で指導にあたっています。また、設楽町体育協会に所属する団体の個別の練習に参加するなど、町民のスポーツの推進を図っています。また、北設楽郡スポーツ推進委員協議会、東三河スポーツ推進委員協議会、東海四県スポーツ推進委員研究大会に参加し、新しい生涯スポーツを習得するとともに、スポーツ振興に関する知識を深めています。

その他、町民のスポーツ活動を支援するため、設楽町体育協会への補助の他、夜間照明使用料、体育館使用料の補助を行っています。

愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝競走大会には、公募により選考された選手が練習会を重ね、出場しました。令和元年度大会の５位（町村の部）が最高位の記録となっており、この記録をこえられるように、監督・コーチ・選手の支援を行いました。

●成果目標

各競技大会の参加者数の増加を図ります。ニュースポーツや親子、家族で一緒に参加できる種目を紹介し、町民の健康づくりに努めます。奥三河トレイルランや町内スポーツ大会など各事業が円滑に実施されるよう取り組むとともに、地域を盛り上げていきます。

●実績結果

体育協会の会員数は 36 人減少しましたが、町民参加の促進や健康づくりの取り組みについては継続的に実施されています。

➢

１　愛知万博 20 周年記念　第１８回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

大会開催日　令和７年１２月６日（土）

成績　町村の部１２位

	支　出	備考
指導者謝礼	72,000 円	監督１名　コーチ４名　　１回 2,000 円
食料費（弁当）	62,500 円	大会当日、コース下見会
消耗品	102,313 円	飲料水、ｽﾎﾟｰﾂ手袋　他
クリーニング代	38,690 円	出場者選手ベンチコート
テント借上げ	41,800 円	大会会場設置
スポーツ保険料	4,374 円	選手、サポーター等





2　設楽町体育協会への助成

	R６	R７	比較
加盟団体数	10 団体	10 団体	―
加盟人数	411 人	375 人	△36 人
補助金額	579,000 円	529,866 円	△49,134 円

3　設楽町体育協会加入団体

ゲートボール協会
軟式野球連盟
卓球クラブ
弓友会
インディアカ連盟
バレーボール連盟
ソフトテニス連盟
少年野球クラブ
剣友会
遊羽球会

✧　夜間照明・体育館使用料補助費　182,920 円（教育課）

設楽町住民の体育振興を図ることを目的に奥三河総合センター体育施設等の使用料に対し３０％補助、また、中学生以下を中心とした団体には、奥三河総合センターグラウンドの使用料を１００％補助しています。

夜間照明、体育館使用料補助

	R６	R７	比較
グラウンド夜間照明使用料（補助率 30%）	134,640 円	94,380 円	△40,260 円
	２団体	２団体	―
体育館使用料（補助率 30%）	8,910 円	540 円	△8,370 円
	２団体	１団体	△１団体
グラウンド使用料（中学生以下を中心とした団体　補助率 100%）	112,540 円	88,000 円	△24,540
	１団体	１団体	―
計	256,090 円	182,920 円	△73,170 円

９款　教育費

５項　保健体育費

－　２目　社会体育施設管理費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P205～	52,178	51,388	0	0	122	51,266

✧　社会体育施設管理運営費　51,387,723 円（教育課）

●

社会体育施設の適正な維持・管理のため、管理を委託できる施設は指定管理者制度を活用し、利用者が快適に利用できる環境を整えるとともに維持管理経費の削減に努めています。

また、町の直営施設には老朽施設も多く見られるため、公共施設等総合管理計画に合わせ、優先度の高い施設から改修し、利用度が少なく耐震性の低い施設の取り壊しを含め、既存施設の適正配置を進めていきます。

関連計画：公共施設等総合管理計画（H29～R8）：財政課

公共施設の維持管理・更新に充当する投資的経費の不足や、人口減少による税収減少や高齢化の進行による扶助費の増加等による財政状況の悪化を是正するため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的とした計画

●成果目標

施設の適正管理、利用促進を図ります。

●実績結果

施設の適正管理に努め、一部施設で利用促進が成果として現れている。

➢

1　各施設の利用状況

施設名	Ｒ６	Ｒ７	比較
名倉スポーツ広場（夜間照明含む）	407 人	320 人	△87 人
	23 日	20 日	△3 日
津具スポーツ広場（夜間照明含む）	180 人	100 人	△80 人
	3 日	1 日	△2 日
田口テニスコート	223 人	73 人	△185 人
	25 日	11 日	△14 日
洲山運動広場	―	―	―
	―	―	―
清嶺小学校（夜間照明）	200 人	40 人	△160 人
	1 日	1 日	0 日
田口弓道場	59 人	54 人	△5 人
	46 日	50 日	4 日
田峯弓道場	―	―	―
	―	―	―
津具弓道場	264 人	128 人	△136 人
	62 日	36 日	△26 日

名倉体育館	315 人	263 人	△52 人
	7 日	14 日	7 日
名倉プール	673 人	688 人	15 人
	38 日	40 日	2 日

2　ふれあい広場利用状況

(1) スイスイパーク利用者数等

		R６	R７	比較
利用人数		7,481 人	8,876 人	1,395 人
	大人	4,439 人	5,211 人	772 人
	小人	3,042 人	3,665 人	623 人
開所日数		296 日	309 日	13 日

(2) 多目的広場利用者数等

	R６	R７	比較
屋内コート	6,053 人	5,823 人	△230 人
屋外コート	6,525 人	6,446 人	79 人
ステージ	－	－	－
照明設備	301 時間	371 時間	70 時間

(3) 各種教室・講座

教室・講座名	開催期間	R６	R７	比較
小学校水泳教室	7 月～8 月（12 回）	延べ 66 人	延べ 65 人	△1 人
その他健康講座	4 月～3 月（11 回）	延べ 75 人	延べ 66 人	△9 人

3　施設管理運営（修繕費、工事費除く）

(1) 社会体育施設（直営施設のみ）

該当施設	田口弓道場、田峯弓道場、津具弓道場、名倉スポーツ広場及び名倉体育館、津具スポーツ広場及び洲山運動広場
実施内容	田口弓道場（浄化槽清掃、浄化槽保守点検委託） 名倉体育館（鍵管理謝礼、消防設備保守点検委託、清掃委託） 名倉スポーツ広場（グラウンド整備） 津具スポーツ広場（草刈委託、清掃委託） 洲山運動広場（草刈委託）
費用	1,660,323 円

4　指定管理者による施設管理

指定管理者	一般社団法人設楽町公共施設管理協会
指定管理料	48,587,000 円（年額）
該当施設	ふれあい広場、田口テニスコート、名倉プール

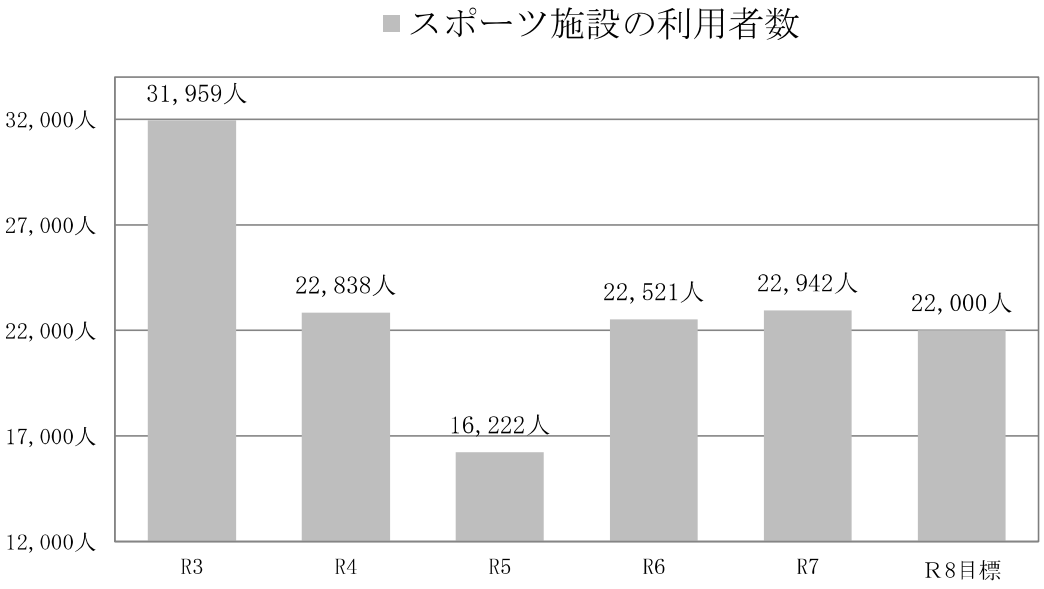
5　備品購入

品名	金額
アップライトバイク （ふれあい広場すいすいパーク　トレーニングルーム用）	300,000 円

6　施設工事（百万を超える工事、修繕）

工事名	金額
なし	

町総合計画



９款　教育費

５項　保健体育費

３目　学校給食調理場費

●事業番号１　　学校給食調理場運営費　　26,669,702 円（教育課）

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P207～	76,464	70,784	0	24,400	5,561	40,823

●事業番号２　　田口共同調理場管理運営費　　13,885,322 円（教育課）

［総　括］

田口共同調理場から、田口小学校、設楽中学校に加えて豊橋特別支援学校山嶺教室へ配食しています。

給食費保護者負担分については、令和６年度から継続して２分の１の助成行いましたが、１月から３月までの３か月に限り、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当したことから、実質無償化することができました。※教職員等の給食費及び豊橋特別支援学校山嶺教室を除く。

令和６年度途中から、米の価格高騰、食材の高騰があり、１人当たりの給食提供価格は増加しましたが、令和２年度から開始した公会計制度の強みにより、当初予算内で安心した調理場運営ができました。

会計年度任用職員の登用により人員補充するなど、安定した調理員の確保に務めました。

調理員の業務負担軽減と、ゆとりある職場環境の実現、バランスの良い給食を安定して提供する場の整備に向け、令和６年度に引き続き、田口共同調理場の改築を想定して建設実施設計業務委託を実施しました。

［実績成果］

１　施設設備等修繕等

	Ｒ６	Ｒ７	主な修繕
修繕費	1,017,379 円	526,603 円	空調機器修繕、水栓取替修繕等
備品購入費	45,880 円	58,960 円	冷凍冷蔵庫

２　賄材料費及び学校給食費

	Ｒ６	Ｒ７	比較	備考
賄材料費	11,696,000 円	11,367,495 円	△328,505 円	
給食費徴収額	7,277,725 円	5,561,225 円	△1,716,500 円	田口小　：1,741,500 円 設楽中　：3,480,225 円 山嶺教室：　339,500 円

給食単価（賄材料費）：小学校 300 円、中学校 350 円

徴収額：児童：４月～12 月は 150 円徴収（1/2 補助）、１～３月は無料（全額補助）

生徒：４月～12 月は 175 円徴収（1/2 補助）、１～３月は無料（全額補助）

小学校教職員：300 円（補助なし）

中学校教職員：350 円（補助なし）

山嶺教室生徒及び教職員：350 円（補助なし）

３　給食食材運搬　　806,594 円　会計年度任用職員（時間）を採用し、名倉小学校調理場、津具小学校調理場に給食食材を運搬しました。

4　給食配送業務委託　705,238円

田口共同調理場から設楽中学校、山嶺教室までの給食配送業務をシルバー人材センターに委託しました。

5　設楽町給食センター設計業務委託

田口共同調理場を建替え、田口小学校、設楽中学校、豊橋特別支援学校山嶺教室、田口高校へ配食できるよう、基本設計及び実施設計を実施しました。

契約期間：令和６年９月30日～令和８年１月20日

契約金額：25,063,500円

９款　教育費

５項　保健体育費

－　４目　つぐグリーンプラザ費

決算書	最終予算額	決算額	本年度決算額の財源内訳　単位：千円			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
P209～	14,857	14,342	0	0	473	13,869

✧　つぐグリーンプラザ運営費　14,341,673 円（津具総合支所管理課）

●

利用者が快適に利用できる環境を整えるとともに、指定管理者制度を活用するなど維持管理経費の削減に努めています。

また、経年劣化による施設の老朽化が進んでいることから、公共施設等総合管理計画に合わせ、優先度の高い箇所から改修していきます。

関連計画：公共施設等総合管理計画（H29～R8）：財政課

公共施設の維持管理・更新に充当する投資的経費の不足や、人口減少による税収減少や高齢化の進行による扶助費の増加等による財政状況の悪化を是正するため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的とした計画

●成果目標

①施設の適正化管理、利用促進を図ります。

②設備老朽化対策修繕を行います。

③小学校対象の水泳教室を開催します。

④ホームページにイベント等を掲載します。

●実績結果

①必要な保守点検等を行い、施設の適正化管理に努めました。

②プール天井修繕及び屋根清掃を行いました。

③6 月～7 月に 6 回にわたって、水泳教室を開催しました。

④小学生水泳教室の開催やプラザの営業時間等を掲載しました。

➢

1　利用状況

(1) プール

		R６	R７	比較
利用人数		1,454 人	1,406 人	△48 人
	大人	679 人	610 人	△69 人
	小人	775 人	796 人	21 人
開所日数		94 日	89 日	△５日

(2) その他施設

	R６	R７	比較
多目的ホール	1,190 人	442 人	△748 人
楽屋	86 人	28 人	△58 人
トレーニング室	43 人	17 人	△26 人

(3) 各種教室・講座

教室・講座名	開催期間	R6	R7	比較
小学校水泳教室	6月～7月（6回）	延べ121人	延べ138人	17人

2　施設管理運営に要した賃金

業務内容	プール監視員・管理人
金　　額	1,406,994円

3　施設修繕

内容	R5	R6	比較
消火栓ホース取替修繕	352,000円	0円	△352,000円
プールサイドベンチ塗装修繕	399,300円	0円	△399,300円
誘導灯取替修繕	704,000円	539,000円	△165,000円
ろ過器用コンプレッサー交換修繕	423,500円	0円	△423,500円
空調用ダンパ操作機器取替修繕	825,000円	0円	△825,000円
昇降機機能維持修繕	0円	426,800円	426,800円
2階機械室給湯配管修繕	0円	275,000円	275,000円
プール天井修繕及び屋根清掃	0円	661,100円	661,100円
その他修繕	206,800円	386,100円	179,300円
計	2,910,600円	2,288,000円	△622,600円

4　施設管理等に要した手数料

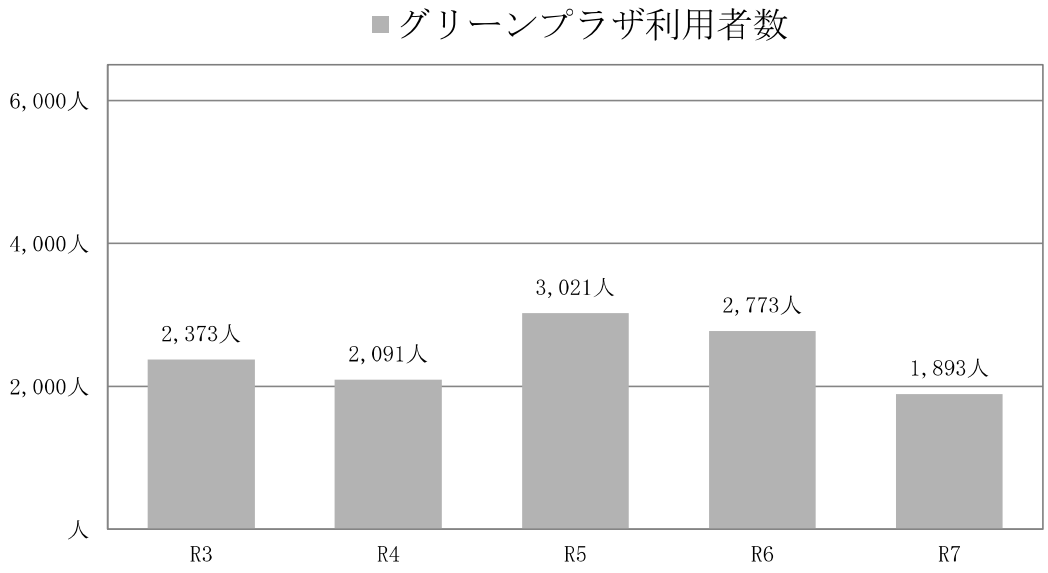
内容	R6	R7	比較
地下タンク等漏洩検査	24,200円	24,200円	0円
プール水質検査手数料	37,950円	37,950円	0円
ピアノ調律手数料・保守点検　外1件	51,392円	83,292円	31,900円
計	113,542円	145,442円	31,900円

5　施設管理のための委託業務

工事名	R6	R7	比較
空調衛生施設保守点検業務	3,740,000円	4,081,000円	341,000円
消防設備保守点検業務	220,000円	242,000円	22,000円
プール保守点検業務	432,300円	432,300円	0円
水泳教室	264,000円	264,000円	0円
エレベーター保守点検業務	475,200円	475,200円	0円
清掃業務　外1件	530,816円	0円	△530,816円
計	5,662,316円	5,494,500円	△167,816円

6　施設改修工事

工事名	R6	R7	比較
楽屋天井等修繕工事	3,075,600円	0円	△3,075,600円


グリーンプラザ利用者数
6,000人
4,000人
2,000人
人
2,373人
2,091人
3,021人
2,773人
1,893人
R3
R4
R5
R6
R7

令和７年度　設楽町教育方針

令和７年度の設楽町教育行政の方針を申し上げます。

令和９年度を始期とする第２次設楽町教育振興基本計画の策定作業の着手についてです。

町の教育の振興、教育行政を推進するめの基本計画として、また、令和９年度を始期とする「第３次設楽町総合計画」の基本構想を具現化するための個別計画として、令和７年度から策定作業に着手します。

新計画においても、引き続き、町内４小学校の学校規模適正化が大きな課題と認識しています。

義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。

学校が児童に対して果たすべき様々な役割、児童数の将来推計を見極めながら、新たな学校統合も視野に入れ、方向性を示します。

検討にあたっては、令和４年９月に制定した「学校規模適正化推進委員会条例」に基づく委員会へ諮問し、調査及び審議をしていただきます。

地域で学校運営を支えていく体制を整えるため、コミュニティ・スクールの設置を進めます。

子供の成長は、地域の中で多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれるものであることから、地域の支えが必要となります。

町内全域の生徒が学ぶ設楽中学校を拠点とし、４つの小学校がそれぞれの地域の中心組織となるような考え方の下で検討いたします。

また、地域が学校運営に参加することで、教職員の多忙化解消などの働き方改革の一助となることも期待されます。

中学生の海外等派遣事業についてです。

コロナ禍を契機として令和２年度から見合わせておりました中学３年生を対象とする海外派遣事業について、生徒たちが世界に目を向け広い視野を持つ契機となる取り組みとして再開します。

ニュージーランドでのファームステイにより、異国での農業体験を中心に、現地の中高生との交流も行います。

特別な支援を要するために海外渡航が難しい生徒については、北海道へ派遣し、公共交通体験、ファーム体験を中心に研修します。

小中学校でのキャリア教育を推進し、特に地元企業での学習機会を設けることで、地場産業に対する理解を深め、地域を愛する心を

育みます。

ＩＣＴを積極的に活用した教育を推進します。

小中学校全ての普通学級へ設置した電子黒板へのデジタル教科書の活用及び、タブレット端末との連携等により、ＧＩＧＡスクール構想の下での授業の実践に努めます。

導入後５年を経過したタブレット端末について、愛知県が中心となって進める共同調達に参加し、機種更新を行います。

子どもの世界では「いじめ」、大人の世界では「ハラスメント」などが、なかなか絶えることがない社会となっています。

最近では特にＳＮＳの利用による教員や生徒の不適切な行為等も問題視されています。

学校、地域、家庭、行政などの関係機関が連携し、これらの事案を放置することのないよう、日ごろから取り組んでいく体制を整備します。

児童生徒や保護者、教職員が悩みごとを相談できるようなメンタルヘルスに関する体整の構築を図ります。

教職員の多忙化解消、働き方改革の推進に努めます。

令和６年度から準備を進めてまいりました全小中学校における統合型校務支援システムについて、令和７年度から本格稼働します。

出欠席・成績処理・学籍管理・健康管理などの児童生徒情報及び、勤怠管理・行事・連絡調整等の学校事務を統合した校務情報を一元管理・共有します。

業務負担が軽減できることに加え、教職員一人一人が各種情報を共有をすることで、多角的な視点で主体的な行動できるよう、学校運営を支える情報基盤を整備します。

学校・教育委員会と保護者のスマートフォンを繋ぐ連絡ツールとして民間会社から無償提供されている連絡アプリを有効活用します。

保護者が時間にとらわれずに欠席連絡できることの他に、学校からの過去の連絡一覧を容易に確認できること、ご家族の複数の保護者等が登録していただくなどにより、ご家族を巻き込んで、学校情報を正確かつ強力に発信していきます。

令和６年度から導入の教頭業務支援員については、教員の超過勤務時間の削減等の顕著な導入効果が認められましたので、引き続き配置することで、多忙となっている校務を支援します。

また、「どんな働き方をしたいのか」、「どんな学校にしたいのか」教職員全員で対話し、理想とする職場にアップデートできるような学校づくりに努めます。

気兼ねなく、定時に帰れる雰囲気づくりにも努めます。

中学校部活動について、国・県による部活動のあり方の方針を踏まえ、地域スポーツクラブ・学校・教育委員会等の関係者が連携の仕方を検討し、地域移行を進めます。

町民文化祭については、奥三河総合センターの改修工事があるため、つぐグリーンプラザで開催します。田口高校の文化祭と出演、出展などの連携協力をしていくとともに、幅広い年代で参加できる催しとします。

学校給食のセンター（仮称）の建設についてです。

慢性的な調理員不足及び既存の調理施設の老朽化等の課題解消を図り、安定的に、安心・安全でおいしい給食を提供するために、引き続き、学校給食センター（仮称）建設事業を進めます。

令和10年9月の供用開始を目指す中で、令和7年度においては、関係者・関係機関から意見を徴収しながら基本設計及び実施設計を完了させます。

奥三河郷土館は、歴史・文化を学ぶ教育施設という位置づけにとどまることなく、道の駅したらの中核として、観光や交流事業との連携を推進します。

令和7年度は、戦後８０年となることから、所有する資料をはじめ、旧田峯小学校で保存している「青い目の人形」を展示しながら

戦争と平和をテーマに特別展を開催します。

また、町内各所に存在する史跡、文化財をめぐる機会をつくり、町の魅力を発見してもらうと同時に交流人口の増加につなげます。

保有する貴重な文化財を有効活用することにより、広く町内外へ設楽町の情報発信をしてまいります。

教育を取り巻く環境は、社会情勢の変化にともない、様々な状況に変化し続けます。

どのような状況となっても、教育行政が少しでも滞ることになってはなりません。

設楽町の宝である子どもたちの健やかな成長を願い、地域や学校と連携して、また、町当局と協議・調整を重ねながら、着実に教育行政の推進を図ります。

議員各位をはじめ町民の皆様にも、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、令和７年度の教育方針といたします。

有識者意見

元設楽町立設楽中学校長　夏目忠士

元設楽町教育委員会教育長　後藤義男

令和７年度の設楽町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況については、主要施策報告書や担当者からのヒヤリングなどから着実に執行されていると考えられますが、一部、設楽町教育振興基本計画に掲載されている事項が主要施策報告書から読み取れない部分もありますので、改善の余地があると考えます。また、主要施策報告書においては、実施成果が成果そのものではなく手段の記載に終わっているところが散見されるため、表現方法を工夫し、実践してきたこととその結果がわかるようにしていただくと良いと思います。

目まぐるしい社会的背景の変化にも適正に対応するなど、今後も引き続き計画に従って適正かつ効果的な執行に尽力してください。

事務の管理及び執行についての主な意見は以下のとおりです。

１　外国語指導助手の配置について

外国語指導助手が配置されたことは成果報告書から確認できたが、配置した結果どのような成果があったのかを示していただきたく思う。小学校５年生から英語の授業が始まり、大変であろうことは想像できるが、引き続き子どもたちのために頑張っていってほしい。

２　教員の多忙化解消への取組について

在校時間調査により数値として大幅に減少していることは評価できる。校務支援システムの活用や電子黒板の活用によりさらなる効果が表れることを期待する。一方で、電子機器が苦手な先生方もいらっしゃることが予想されるので、そちらのフォローについても引き続き取り組んでいただきたい。

３　生涯学習について

多岐にわたる講座を企画し実施したことを評価するが、一方で町民の興味が多様化したり、わざわざ出かけなくても様々なコンテンツがインターネットを通じて手に入ったりできるようになったことも理由のひとつかと想像される

が、一般の参加者数が少ないことが確認できる。これは生涯学習講座に限ったことではなく、福祉分野やコミュニティの活動でも同じと聞く。町民の豊かな学びのためには引き続き生涯学習講座の提供を望むが、はたちを祝う会でのアトラクション等でも大変魅力的な内容を提供してくださっているため、こういった行事でも補完できる内容とするのも考え方のひとつであろう。また、町民のなかには経験や知識の豊富な方もたくさんいらっしゃるので、そういう方々を活用し、町内で循環できる社会教育を実現していただきたい。

４　奥三河郷土館について

奥三河郷土館の入館者数が伸び悩んでいる。しかし、博物館的役割を果たすものの性質として、入館料で自立的に経営を賄うことは困難であると認識している。一方で、奥三河郷土館は、町内外の方々に設楽町のことを理解していただくために大変良い施設である。道の駅したらと併設している立地の良さを存分に活かし、多くの来場者に入館して設楽町の魅力を知っていただくために、入館料を無料化するなどの工夫が必要と感じている。奥三河郷土館の果たす役割について今一度再認識され、多くの方に見ていただけるよう検討を進めていく時期だと考える。

５　田口高校との中高一貫教育について

私立高校の無償化や学べる科目の多様化など、生徒にとっての高校の選択の幅が広がったこともあり、町内中学校から田口高校への進学率の目標達成が困難な状況が続いていることは理解する。一方で、様々なご意見があるなかで実現が容易ではないことは想像できるが、田口高校の職員や、田口高校に進学した生徒から、田口高校を選択した理由や田口高校の良さを、直接中学生やその保護者に説明していただくような機会を設け、郡内唯一の高校となった田口高校との中高一貫教育を維持・推進することで、ぜひとも田口高校への進学率の目標をクリアする動きを出していただきたい。

令和７年度　教育に関する事務の点検・評価報告書

令和８年 10 月
設楽町教育委員会

441-2301　愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前 14 番地
電話　0536-62-0531
設楽町教育委員会教育課